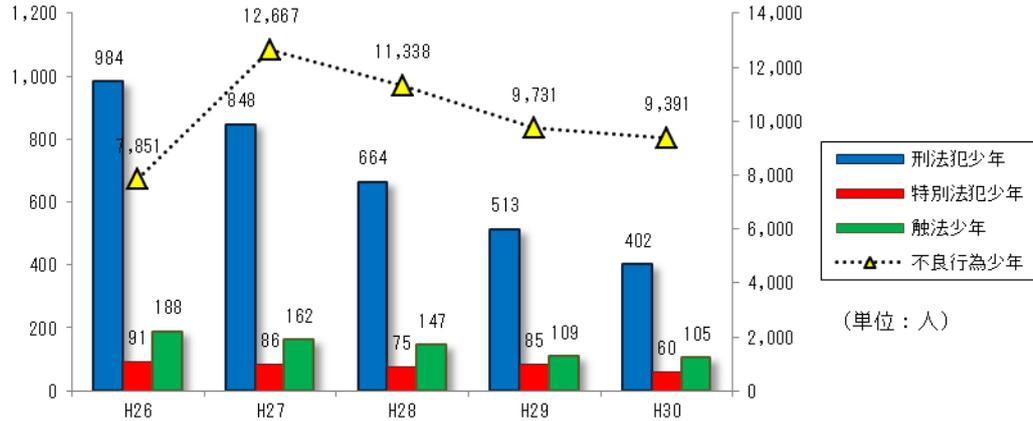


1 少年非行の情勢

- 刑法犯少年は402人で、前年と比較して111人（-21.6%）**減少**
- 特別法犯少年は60人で、前年と比較して25人（-29.4%）**減少**
- 触法少年は105人で、前年と比較して4人（-3.7%）**減少**
- 不良行為少年は9,391人で、前年と比較して340人（-3.5%）**減少**



	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	984	848	664	513	402	-111	-21.6%
特別法犯少年	91	86	75	85	60	-25	-29.4%
触法少年	188	162	147	109	105	-4	-3.7%
不良行為少年	7,851	12,667	11,338	9,731	9,391	-340	-3.5%

- 刑法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、刑法犯で検挙された少年をいう。
- 特別法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、特別法犯で検挙された少年をいう。
- 触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年をいう。
- 不良行為少年…非行少年には該当しないが、深夜はいかい、喫煙等で補導された少年をいう。

2 刑法犯少年

(1) 罪種別検挙状況

- 罪種別では、窃盗犯が225人で最も多く、刑法犯少年全体の56.0%を占める。
- 知能犯で検挙された少年は34人で、前年から1人（3.0%）増加した。
- 占有離脱物横領や器物損壊等のその他の刑法犯で検挙された少年は51人で、前年から53人（-51.0%）減少しており、刑法犯少年の減少数の47.7%を占める。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	984	848	664	513	402	-111	-21.6%
凶悪犯	13	26	16	11	6	-5	-45.5%
粗暴犯	164	165	118	85	83	-2	-2.4%
窃盗犯	563	474	384	269	225	-44	-16.4%
知能犯	21	26	18	33	34	1	3.0%
風俗犯	10	7	9	11	3	-8	-72.7%
その他	213	150	119	104	51	-53	-51.0%

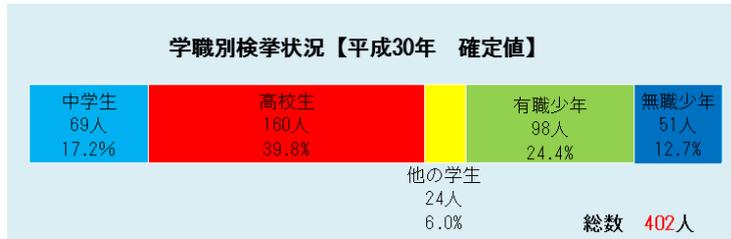
- 凶悪犯…殺人、強盗、強制性交等、放火など
- 粗暴犯…傷害、暴行、恐喝、脅迫など
- 窃盗犯…万引き、自転車盗、侵入窃盗など
- 知能犯…ニセ電話詐欺、横領など
- 風俗犯…公然わいせつ、賭博など
- その他…占有離脱物横領、公務執行妨害など

- (2) 刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合（構成比）
構成比は9.5%で、前年から1.0ポイント低下した。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
総検挙人員	5,068	5,141	4,873	4,909	4,237	-672	-13.7%
刑法犯少年	984	848	664	513	402	-111	-21.6%
構成比	19.4%	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	▼1.0P	

- (3) 学職別検挙状況

学職別では、高校生が160人で最も多く、刑法犯少年全体の39.8%を占める。



- (4) 再犯者率

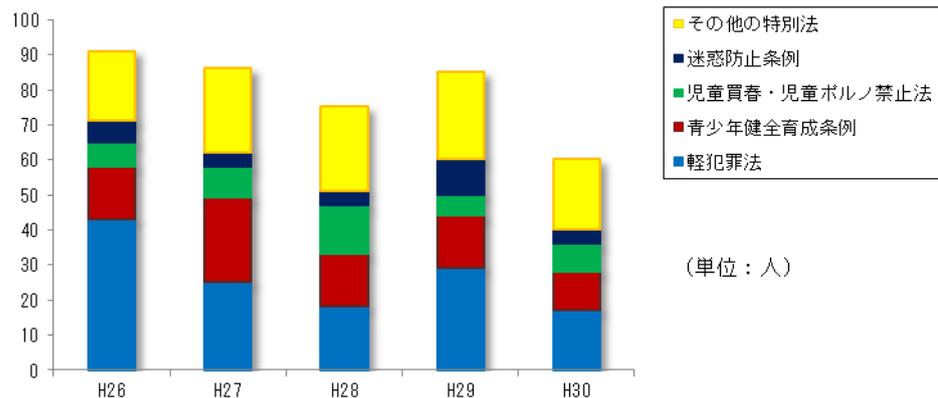
刑法犯少年の31.1%が再犯者であり、前年から6.9ポイント低下した。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
刑法犯少年	984	848	664	513	402	-111	-21.6%
再犯者	343	321	283	195	125	-70	-35.9%
再犯者率	34.9%	37.9%	42.6%	38.0%	31.1%	▼6.9P	

3 特別法犯少年

- (1) 法令別検挙状況

- 軽犯罪法違反での検挙が17人で最も多く、特別法犯少年の28.3%を占める。
- 児童買春・児童ポルノ禁止法違反での検挙は8人で、前年から2人増加した。



	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
特別法犯少年	91	86	75	85	60	-25	-29.4%
軽犯罪法	43	25	18	29	17	-12	-41.4%
青少年健全育成条例	15	24	15	15	11	-4	-26.7%
児童買春・児童ポルノ禁止法	7	9	14	6	8	2	33.3%
迷惑防止条例	6	4	4	10	4	-6	-60.0%
その他の特別法	20	24	24	25	20	-5	-20.0%

(2) 薬物事犯

- 薬物事犯で検挙された少年は12人で、前年から2人（-14.3%）減少した。
- 大麻取締法違反で検挙された少年は8人で、前年から1人（14.3%）増加した。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
薬物事犯	2	10	13	14	12	-2	-14.3%
覚せい剤取締法	2	8	6	7	3	-4	-57.1%
大麻取締法	0	2	7	7	8	1	14.3%
麻薬等取締法	0	0	0	0	1	1	100.0%

4 福祉犯（少年の福祉を害する犯罪）

(1) 検挙件数・検挙人員・被害少年

- 検挙件数は179件で、前年から35件（+24.3%）増加した。
- 検挙人員は138人で、前年から20人（+16.9%）増加した。
- 被害少年は128人で、前年から10人（+8.5%）増加した。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
検挙件数	178	170	181	144	179	35	24.3%
検挙人員	151	134	120	118	138	20	16.9%
被害少年	145	143	140	118	128	10	8.5%

(2) 法令別福祉犯検挙件数・検挙人員・被害少年

- 検挙件数は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反での検挙が83件で最も多い。
- 検挙人員は、児童買春・児童ポルノ禁止法違反での検挙が63人で最も多い。
- 被害少年は、青少年健全育成条例にかかる被害が55人で最も多い。

		H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
							増減数	増減率
児童買春・児童ポルノ禁止法	検挙件数	59	47	82	48	83	35	72.9%
	検挙人員	38	34	40	29	63	34	117.2%
	被害児童	26	16	36	21	28	7	33.3%
青少年健全育成条例	検挙件数	90	81	59	61	57	-4	-6.6%
	検挙人員	79	71	54	57	48	-9	-15.8%
	被害児童	88	80	57	63	55	-8	-12.7%
未成年者喫煙禁止法	検挙件数	23	11	11	15	11	-4	-26.7%
	検挙人員	26	11	13	15	12	-3	-20.0%
	被害児童	24	11	11	14	11	-3	-21.4%
その他	検挙件数	6	31	29	20	28	8	40.0%
	検挙人員	8	18	13	17	15	-2	-11.8%
	被害児童	7	36	36	20	34	14	70.0%

(3) SNS等の利用に起因する福祉犯被害少年

- SNS等の利用に起因して福祉犯の被害にあった少年は29人で、前年から7人（+31.8%）増加した。
- 福祉犯被害にあった少年の22.7%がSNS等の利用に起因している。

	H26	H27	H28	H29	H30	増減数	
						増減数	増減率
福祉犯被害児童数	145	143	140	118	128	10	8.5%
SNS等利用に起因	36	27	33	22	29	7	31.8%
うち出会い系	1	0	0	0	0	0	-

○ SNS等とは、LINE、Twitter、Facebook等のほか、コミュニティサイト(出会い系サイトの要件を満たしていないSNS交流サイトで、不特定多数の人とコミュニケーションがとれるサイトの総称)も含む。